

全国学力・学習状況調査結果分析

□は問題番号

【国語A】

強み

○伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

1 漢字を読んだり書いたりする

漢字の読みをみる問題。

2 文の構成を理解する

主語と述語との照応関係をみる問題。

○B 書くこと

4 説明する文章を書く

具体的な例を挙げて説明する文章を書くことができるかどうかをみる問題。

弱み

○A 話すこと・聞くこと

3 聞き方を工夫する

話の内容に対する聞き方を工夫することができるかどうかをみる問題。

○C 読むこと

5 新聞のコラムを読む

新聞のコラムを読んで、表現の工夫を捉える事ができるかどうかをみる問題。

手立て

・友達の発表や意見と自分の意見とを比較しながら聞くように声をかける。

・見学先や授業の中で話を聞く際、必要に応じてメモを取るようにする。メモの取り方についても指導をする。

・自主学習や宿題で新聞を読んで、要点をまとめたり、書き手の伝えたいことを読み取り、感想を書いたりする活動を取り入れる。

・新聞のコラム欄に注目して新聞を読むようにし、書き手のユーモアや事実と意見の関係をまとめたり、発表したりできるようにする。

・身近なコラム的なものやパンフレットのなものについて、授業はもちろん平素からその書き手(作り手)の表現の工夫やねらいについて関心をもたせるような話題を意識して増やす。(教師が)

【国語 B】

強み

○C 読むこと

2 目的に応じ、文章と図を関連付けて読む

目的に応じ、中心となる語や文を捉えることができるかどうかみる問題。

弱み

○B 書くこと

1 目的に応じて新聞を書く

目的や意図に応じ、取材した内容を整理しながら記事を書くことができるかどうかみる問題。

○C 読むこと B 書くこと

2 目的に応じ、文章と図を関連付けて読む

文章と関連付けて、自分の考えを書くことができるかどうかを見る問題。

手立て

- ・見学や授業等で取ったメモを使い、新聞を書いたり、まとめを書いたりする学習を通して、必要な情報を読み取り、つなげ、適切な分量にして書くようにする。
- ・読み手を意識し、伝えたいことを明確にして新聞などにまとめる活動をする。
- ・説明文の学習の中で、要旨を捉える際、児童に理由や根拠、構成の仕方などの観点を与え、読み取れるようにする。
- ・自分なりに読みとった書き手の要旨を、分量や表現の仕方を意識しながらまとめることができるように指導する。

【算数 A】

強み

○A 数と計算

2 四則計算

整数の計算、分数の計算ができるかどうかをみる問題。

○D 数量関係

8 式の読み

式に表現された数量の関係を図と関連付けて考えることができるかどうかをみる問題。

弱み

○A 数と計算

2 計算の能力

末尾の位のそろっていない小数の減法の計算ができるかをみる問題。

(6.79 - 0.8)

○C 図形

5 円と二等辺三角形

三角形が二等辺三角形になる根拠となる円の性質を選択することができるかをみる問題。

(円の半径の長さはどれも同じ長さ)

手立て

- ・具体物の操作等を取り入れた「算数的活動」を重視し、小数の仕組みと数の相対的な大きさについて感覚的に捉えられるよう指導する。
- ・図形を構成する活動を行う際、根拠を考え、伝え合うような学習活動を重視する。

【算数B】

強み

○C 図形

① 平行四辺形の性質

平行四辺形の性質を基に、平行四辺形を構成する辺の組み合わせを選ぶことができるかどうかをみる問題。

○A 数と計算

④ 見積もりの仕方と結果の判断

切り上げた場合の見積もりの結果を基に、目標に達しているかについて判断できるかをみる問題。

弱み

○D 数量関係

② 場面の読み取りと処理・判断

示された情報から基準量（もとにする量）を求める場面と捉え、比較量と割合から基準量を求めることができるかどうかをみる問題。

○C 図形

⑤ 図形の観察と根拠の説明

条件を変更した場面に面積を2等分する考えを適用して、示された部分の面積を求めることができるかどうかをみる問題。

手立て

- ・数直線図を取り上げた指導を系統的に行い、感覚的に大小関係や答えの見当を立てられるようにする。また、図からまずはかけ算の式を立てられるように指導する。
- ・授業場面と日常生活を結び付けた学習内容を積極的に取り上げる。また、自主学習等で取り組ませる。
- ・問題提示場面で既習事項と未習事項を明確にした上でめあてを立て、見通しをもって学習に取り組ませる。
- ・自分の考えを友だちと伝え合う場（ペア・グループ・全体）を積極的に取り入れる。
- ・友だちの意見やまとめたことを自分の言葉で説明する機会を設ける。

【理科】

強み

○A 物質・エネルギー

① エネルギーに関する問題

振り子時計の調整の仕方を調べるための実験について、条件を制御しながら構想できるかどうかをみる問題。

○A 物質・エネルギー

③ 粒子に関する問題

水蒸気は水が気体になったものであることを理解しているかどうかをみる問題。

○B 生命・地球

④ 星の動き方

星座や雲の動きについて、観察記録を基に考察して分析できるかどうかをみる問題。

弱み

○A 物質・エネルギー

③ 粒子に関する問題

析出する砂糖の量について分析するために、グラフを基に考察し、その内容を記述できるかどうかをみる問題。

○A 物質・エネルギー

① 金属の温度による体積変化

熱膨張が小さい金属について、グラフを基に考察して分析した内容を記述できるかどうかをみる問題。

手立て

・ 正答を選択しながらも、正しい理由を説明できなかった児童が多かった。そのため、ふだんの授業から、グラフを見たり実験をしたりした後、「結果から分かること」を自分でまとめる場面、自分の考えを友だちに伝える場면을積極的に取り入れる。また、単元テストの「直し」においても、記述問題の理想的な回答をきちんと書くことができる力を、どの子にも丁寧に育てていく。